

老若男女「地域の絆」を育む

当会では、自主事業として「キッズ・タウンミーティング」「愛宕山清掃」「講演会」「善行表彰」などを実施するとともに、地域で取り組む「コミュニティー事業」への助成など、関係機関、PTA、関係団体と協調を図りながら、家庭、学校、地域が一体となった青少年の健全育成に取り組んでいる。

「キッズ・タウンミーティング」は、小学6年生が自分たちの目線で見た街の暮らしについて



キッズ・タウンミーティング

て笠間市長と直接意見交換することにより、郷土への関心を高めるとともに、社会への参加意識を持った将来の地域リーダーを育てることを目的に、毎年12月に開催している。

今年1月には県民会議と共催で「親子ふれあいミーティング」を実施、「どんと語ろう！いわまの親子」と銘打ち、「親からかけてもらいたい言葉」「マナーについて」「ふるさとに望むこと」の三つのテーマについて、6つの班に分かれて話し合った。ミーティング後は、地元で古くから行われている「どんと焼き」に参加、伝統行事に世代を超えた350名が集い、大いに盛り上がった。

また8月には、県民会議の「青少年育成活動支援モデル

事業」として2つの事業を実施した。一つは「岩間地区中高校生による震災復興支援活動」で、岩間中学校の生徒24人、同校出身の高校生5人が東日本大震災で大きな被害を被った宮城県を訪れ、避難所や仮設住宅に岩間地区で収穫した米を届けた。石巻市河南東中学校では、全校生徒に迎えられ、リレーや綱引きで交流した。参加した生徒からは、普段の生活のありがたみ、家族の大切さに加え「被災者から逆に元気をもらった」「人の役に立つ仕事がしたい」など感想があり、一人ひとりがたくましく成長した姿がみられた。



もう一つの事業 仮設住宅前で被災した方の話に耳を傾けるは、大洗「こどもの城」に於いて二泊三日の日程で実施した「チャレンジ・キャンプ」。小学5、6年生を対象とし、テント泊など日頃体験できない様々な活動を通してコミュニケーション能力を高め、集団生活における規範意識を養うこと、さらに、高校生会が企画運営に関わることでより活動の活性化を図ることを目的に実施。小学生からは、「初めての体験で楽しかった」「新しい友達を作ることができた」「協力することができた」などの感想が寄せられ、高校生会も今後の活動に生かせる経験となった。

このような活動を通し、今後も積極的に青少年の健全育成に取り組んでいきたい。

青少年育成美浦村民会議

〒300-0424 稲敷郡美浦村受領1460-1
美浦村中央公民館内 生涯学習課
TEL 029-885-4451

みんなで育てる青少年

青少年育成美浦村民会議は、青少年の育成に村民の全てが関心をもち、住民総ぐるみの運動を展開し、次代を担う青少年の心身の健全な育成を図るとともに、青少年の育成に関する機関、団体相互の緊密な連絡調整を図ることを目的とし、昭和61年から活動している。

主な活動は、村教育委員と村民会議役員が合同で各幼稚園、小・中学校の授業参観を行い、先生と教育委員と村民会議が定期的に懇談会を行うことにより、青少年の現状把握、情報の共有化を図っている。

下校時「あいさつ・声かけ運動」の実施や継続した「親子ふれあいミーティング」を開催することにより、児童生徒に大人が自然とかかわれるような活動を展開している。

7月には、有害広告物の除去活動を中心とした「青少年を取りまく社会環境の点検活動」を実施して、区長・PTA・子ども会・商工会・防犯員・交通指導員・教育委員・学校・保育所等の大人たちに、小学生・中学生・高校生も参加して、大人と子どもと一緒に作業を行い、大人と



子どもとの交流の機会としている。社会環境の点検活動の1つに、通学路の清掃活動があり、大人と児童生徒がコミュニケーションをとりながら作業を行う。清掃活動も大事ですが、地域の大人たちとふれあう中、今、子どもたちや大人が考えていることをこの活動を通して、お互いが学びあうきっかけになっている。

また、村民会議の活動を、幅広く村民に理解していただき協力を得るため、青少年育成美浦村民会議広報「えがお」を発行している。



大人と子どもと一緒に清掃活動